

国立大学法人京都大学役職員の再就職等の規制に関する規程等新旧対照表

改 正 前	改 正 後
<p style="text-align: center;"><b>国立大学法人京都大学役職員の再就職等の規制に関する規程</b> (平成28年3月8日総長裁定)</p> <p>(前 略)</p> <p>別記様式第1号 (第6条関係) }                      別記様式第2号 (第7条第1項関係) } (略)                      別記様式第3号 (第7条第2項関係) }                      別記様式第4号 (第7条第3項関係) }</p> <p style="text-align: center;"><b>京都大学自家用電気工作物保安規程施行細則</b> (昭和46年6月8日総長裁定)</p> <p>(前 略)</p> <p>別記様式第1 }                      別記様式第2の(1) }                      別記様式第2の(2)-A-1(1) }                      別記様式第2の(2)-A-1(2) } (略)                      別記様式第2の(2)-A-1(3) }                      別記様式第2の(2)-B-1 }                      別記様式第2の(2)-B-2 }                      別記様式第2の(2)-C }                      別記様式第2の(2)-D }                      別記様式第2の(3) }                      別記様式第2の(4) }                      別記様式第2の(5) }                      別記様式第2の(6) }                      別記様式第3 }</p> <p style="text-align: center;"><b>京都大学組換えDNA実験安全管理規程施行細則</b> (昭和54年10月30日総長裁定)</p> <p>(前 略)</p> <p>様式1 }                      様式2 } (略)                      様式3 }                      様式4 }                      様式5-1 }                      様式5-2 } (同 左)                      様式5-3 } (別 添)                      様式6-1 }                      様式6-2 } (同 左)</p> <p style="text-align: center;"><b>京都大学実験廃液・廃棄物の管理及び処理等の実施に関する要項</b> (平成18年3月7日総長裁定)</p> <p>(前 略)</p> <p>様式 (略)</p>	<p>別記様式第1号 (第6条関係) }                      別記様式第2号 (第7条第1項関係) } (別 添)                      別記様式第3号 (第7条第2項関係) }                      別記様式第4号 (第7条第3項関係) }</p> <p>別記様式第1 }                      別記様式第2の(1) }                      別記様式第2の(2)-A-1(1) }                      別記様式第2の(2)-A-1(2) } (別 添)                      別記様式第2の(2)-A-1(3) }                      別記様式第2の(2)-B-1 }                      別記様式第2の(2)-B-2 }                      別記様式第2の(2)-C }                      別記様式第2の(2)-D }                      別記様式第2の(3) }                      別記様式第2の(4) }                      別記様式第2の(5) } (同 左)                      別記様式第2の(6) }                      別記様式第3 } (別 添)</p> <p>様式1 }                      様式2 } (別 添)                      様式3 }                      様式4 }                      様式5-1 }                      様式5-2 } (同 左)                      様式5-3 } (別 添)                      様式6-1 }                      様式6-2 } (同 左)</p> <p>様式 (別 添)</p>

改 正 前	改 正 後
<b>国立大学法人京都大学会計実施規則</b> (平成16年4月1日総長裁定)	
(前 略)	
様式 1 様式 2-1 様式 2-2 様式 2-3 様式 2-4-1 様式 2-4-2 様式 3-1 様式 3-2 様式 3-3 様式 3-4 様式 3-5 様式 4-1 様式 4-2 様式 4-3 様式 4-4・4-5 様式 4-6 様式 4-7 様式 4-8 様式 4-9～4-11 様式 5-1 様式 5-2 様式 5-3 様式 5-4 様式 5-5 様式 5-6	様式 1 (同 左) 様式 2-1 } 様式 2-2 } (別 添) 様式 2-3 } 様式 2-4-1 } 様式 2-4-2 } 様式 3-1 } 様式 3-2 } 様式 3-3 (同 左) 様式 3-4 (別 添) 様式 3-5 (同 左) 様式 4-1 (別 添) 様式 4-2 (同 左) 様式 4-3 (別 添) 様式 4-4・4-5 (同 左) 様式 4-6 (別 添) 様式 4-7 (同 左) 様式 4-8 (別 添) 様式 4-9～4-11 (同 左) 様式 5-1 } 様式 5-2 } (別 添) 様式 5-3 (同 左) 様式 5-4 (別 添) 様式 5-5 (同 左) 様式 5-6 (別 添)
<b>国立大学法人京都大学宿舍管理規則</b> (平成16年4月1日総長裁定)	
(前 略)	
様式 1 様式 2 様式 3 様式 4 様式 5 様式 6 様式 7 様式 8 様式 9	様式 1 様式 2 様式 3 様式 4 様式 5 } (別 添) 様式 6 } 様式 7 } 様式 8 } 様式 9 }

改 正 前	改 正 後
<b>国立大学法人京都大学旅費規則</b> (平成16年4月1日総長裁定)	
(前 略)	
様式1-1 様式1-2 様式1-1、1-2 様式2-1 様式2-2 様式2-1、2-2 様式3	様式1-1 様式1-2 様式1-1、1-2 様式2-1 様式2-2 様式2-1、2-2 様式3
<b>京都大学遺失物取扱基準</b> (昭和41年8月11日総長裁定)	
別紙様式1 別紙様式2 別紙様式3 別紙様式4 別紙様式5 別紙様式6	別紙様式1 別紙様式2 別紙様式3 別紙様式4 別紙様式5 別紙様式6
<b>国立大学法人京都大学が実施する会議等における飲食費支出基準</b> (平成25年3月1日総長裁定)	
様式1 様式2	様式1 様式2
<b>京都大学図書館保管資料特別利用規則</b> (平成17年1月28日総長裁定)	
様式1 様式2	様式1 様式2
	<b>附 則</b> この規程は、令和元年5月7日から施行する。

別記様式第1号（第6条関係）

再就職者から法令等違反行為の要求又は依頼を受けた場合の届出

年 月 日

国立大学法人京都大学総長 殿

国立大学法人京都大学役職員の再就職等の規制に関する規程第6条の規定に基づき、下記のとおり届出をします。

この届出書の記載事項は、事実と相違ありません。

1 届出者

(ふりがな) 氏名	国立大学法人京都大学における地位
--------------	------------------

2 法令等違反行為の要求又は依頼をした再就職者の氏名等

(ふりがな) 氏名	法令等違反行為の要求又は依頼が行われた日時 年 月 日 時
勤務先営利企業等の名称	勤務先営利企業等における再就職者の地位

3 法令等違反行為の要求又は依頼の内容

--

別記様式第2号（第7条第1項関係）

在職中に再就職の約束をした場合の届出

年 月 日

国立大学法人京都大学総長 殿

国立大学法人京都大学役職員の再就職等の規制に関する規程（以下、「再就職等規制規程」という。）第7条第1項の規定に基づき、下記のとおり届出をします。

1 (ふりがな) 氏 名	( )
2 国立大学法人京都大学における地位	
3 再就職の約束をした日以前の常勤役職員(※)としての在職中において、再就職先に対し、最初に当該就職先の地位に就くことを要求した日	<input type="checkbox"/> 当該日あり ( 年 月 日 ) <input type="checkbox"/> 当該日なし
4 再就職の約束をした日	年 月 日
5 離職予定日	年 月 日
6 再就職予定日	年 月 日
7 再就職先の名称及び連絡先	
8 再就職先の業務内容	
9 再就職先における地位	
10 離職後の就職の援助(最初に常勤役職員(※)となった後に行われたものに限る。)を行った者の氏名又は名称及び当該援助の内容	(離職後の就職の援助が無かった場合には、「該当なし」と記載。)

(※) 再就職等規制規程第3条第2号に規定する常勤役職員をいう。

別記様式第3号（第7条第2項関係）

在職中に再就職の約束をした場合の届出に係る変更届出

年 月 日

国立大学法人京都大学総長 殿

年 月 日付けの国立大学法人京都大学役職員の再就職等の規制に関する規程第7条第1項の規定による届出について、次のとおり変更があったので届出をします。

国立大学法人 京都大学に おける地位	変更前	
	変更後	
離職予定日	変更前	
	変更後	
再就職予定日	変更前	
	変更後	
再就職先の 名称及び連絡先	変更前	
	変更後	
再就職先の業務内容	変更前	
	変更後	
再就職先における地位	変更前	
	変更後	

※変更のあった項目のみ記入してください。

在職中に再就職の約束をした場合の届出に係る失効届出

年 月 日

国立大学法人京都大学総長 殿

氏名

年 月 日付けの国立大学法人京都大学役職員の再就職等の規制に関する規程  
第7条第1項の規定による届出に係る約束の効力が失われましたので、届出をします。

総 長 殿

(部局長名)

保 安 主 任 者 等 命 免 報 告 書

下記により、保安主任者・要員を命・免じたので、報告します。

記

所属・職・氏名	
関係資格等	
現在の職務内容	
保安主任者等として職務の内容及び範囲	
異 動 事 由	
異 動 年 月 日	





# 巡視点検測定記録(A-1の1)

---(特別高圧)受電・配電設備(日常・定期)点検表---

第 区電気主任技術者

年 月 日実施

実施対象		保安主任者 及び実施者	保安主任者  実施者	印  印
------	--	----------------	------------------	------------

点検結果・改善処置			
区分	点検項目	記事(不良の場合、不良機器名、部位、程度等を記入)	改善処置
G I S	1 外観点検-汚損、損傷(有無)、きれつ、油漏れ(有無) 過熱(有無)、発錆(有無) 2 ガス母線及びGCBのガス圧力(有無) 3 表示灯異常(有無) 4 ガス配管異常(有無) 5 制御配線異常(有無) 6 ※GCB、DS、ESの開閉具合及びインターロック(良否) 7 ※機器開閉蓄勢表示器の動作(良否) 8 ※制御線及び接地線の接続部分点検(良否) 9 ※塗装及び発錆(良否) 10 ※警報装置の動作確認(良否) 11 ※動作機構、リンク部分配線端子部のゆるみ(有無) 12 ※各部の損傷、腐食、過熱、変形、ゆるみ(有無)		
断 路 器	1 外観点検-汚損、損傷(有無)、きれつ、油漏れ(有無) 過熱(有無)、発錆(有無) 2 受と刃の接触(良否)、過熱、変色、変形(有無) 3 汚損、異物の付着(有無) 4 コンプレッサー異常(有無)－該当機器なし (空気動作断路器のみ) 5 ※受と刃の荒れ具合(良否) 6 ※振れ止め装置の機能(良否) 7 ※締め付け部ゆるみ(有無) 8 ※操作、開閉動作(良否) 9 ※鉄部の発錆、異常、変形(有無) 10 ※接地線及び制御線の接続部分の点検(良否) 11 ※警報装置の動作確認(良否) 12 ※各部の損傷、腐食、過熱(有無)、変形、ゆるみ(有無)		
遮 断 路 器 ( G C B A B B	1 外観点検-汚損、変形、加熱(有無) 2 異音、異臭(有無) 3 ABBの空気圧力、GCBのガス圧力(良否) 4 その他必要事項(有無) 5 コンプレッサー異常[ABBのみ](有無)－該当機器なし 6 ※締め付け部ゆるみ(有無) 7 ※操作、開閉動作(良否) 8 ※接地線及び制御線の接続部分の点検(良否) 9 ※警報装置の動作確認(良否) 10 ※各部の損傷、腐食、過熱(有無)、変形、ゆるみ(有無)		
高 圧 配 電 盤	1 外観点検-汚損、損傷(有無)、きれつ、油漏れ(有無) 過熱(有無)、発錆(有無) 2 表示灯の異常(有無) 3 制御回路のプラグ接続状態(良否) 4 遮断器の異常音、異臭(有無) 5 遮断器の動作回数(記録) 6 遮断器のガス圧の確認ガス式のみ(記録) 7 ※各部の損傷・腐食(有無)、過熱(有無) ガス圧(良否)、発錆(有無)、変形ゆるみ(有無) 8 ※操作具合、機構(良否) 9 ※付属装置(良否) 10 ※接地線の接続部(良否) 11 ※機構部内部、接触子、摺導面の注油(有無)		

(注) 1. 記事欄には不良の場合のみ記入するものとし、不良機器名、部位、程度等を具体的に記入すること。  
 2. 改善措置欄には、当該措置の日付、内容等を記入すること。  
 3. ※は定期点検時行うものである。

# 巡視点検測定記録(A-1の2)

## ---(特別高圧)受電・配電設備(日常・定期)点検表---

第 区電気主任技術者

年 月 日実施

実施対象		保安主任者 及び実施者	保安主任者	印
			実施者	印

## 点検結果・改善処置

区分	点検項目	記事 (不良の場合、不良機器名、部位、程度等を記入)	改善処置
母線	1 外観点検- 碍子の破損その他の異常(有無) 2 ※母線-高さ、たるみ(適否)、他線との離隔 損傷・腐食(有無)、過熱(有無) 3 ※接続部分、クランプ類の腐食、ゆるみ(有無) 4 ※碍子類、支持物の損傷、腐食、変形、ゆるみ(有無)		
受電用変圧器	1 本体外観点検-汚損(有無)、油漏れ(有無)、振動、 音響、温度(有無) 2 ※各部の汚損、損傷、腐食(有無)、油量(適否) 発錆(有無)、ゆるみ(有無) 3 ※接地線の接続部(良否)		
計器用変成器	1 外観点検-汚損、損傷、腐食(有無)、温度(良否)、 発錆(有無)、音響(有無)、変形(有無)、ヒューズの 異常(有無) 2 ※各部の汚損、損傷、腐食(有無)、接触(良否)、発錆 (有無)、変形、ゆるみ(有無)、ヒューズの異常(有無) 3 ※接地線の接続部(良否)		
避雷器	1 外観点検-汚損、損傷(有無)、きれい、ゆるみ(有無) 2 ※各部の汚損、損傷(有無)、きれい、ゆるみ、 コンパウンドの異常(有無) 3 ※接地線の接続部(良否)		
引込線路	1 架空電線の高さ、他物・樹木との離隔距離(良否) 2 ケーブルの損傷、腐食、加熱(有無) 3 警戒標、保護柵(有無) 4 支持物の損傷、腐食(有無) 5 ※架空電線、支持物(良否)、がいしの損傷、腐食(有無) (関西電力㈱点検時) 6 ※ケーブルの損傷、腐食、きれい(有無) 7 ※接地線接続部(良否)		
低圧配電盤	1 計器、表示灯の異常(有無) 2 操作、切換え、配線用遮断器等の異常(有無) 3 ※裏面配線のじんあい、汚損(有無)、過熱、ゆるみ、 断線(有無) 4 ※接地線の接続部(良否) 5 各部の損傷、過熱、接触、ゆるみ、断線、脱落(有無) 6 ※端子配線符号(有無)		
電力用コンデンサ	1 本体外観点検-汚損(有無)、油漏れ(有無)、音響・ 振動(有無)、変形・変色(有無) 2 ※各部の損傷、腐食、発錆、ブッシングの亀裂(有無)		

- (注) 1. 記事欄には不良の場合のみ記入するものとし、不良機器名、部位、程度等を具体的に記入すること。  
2. 改善措置欄には、当該措置の日付、内容等を記入すること。  
3. ※は定期点検時行うものである。

## 巡視点検測定記録(A-1の3)

---(特別高圧)受電・配電設備(日常・定期)点検表---

第 区電気主任技術者

年 月 日実施

実施対象		保安主任者 及び実施者	保安主任者  実施者	印  印
------	--	----------------	------------------	------------

点検結果・改善処置			
区分	点検項目	記事 (不良の場合、不良機器名、部位、程度等を記入)	改善処置
直 流 電 源 等 装 置	1 充電装置の損傷、異臭、異音(有無) 2 蓄電池の液面、液漏れ、端子のゆるみ(良否) 3 ※端子の損傷、腐食(有無)、耐酸塗料のはくり(有無) 4 ※床面の損傷、腐食(有無) 5 ※充電装置の動作状況(良否)		
接 地	1 腐食、発錆(有無) 2 ※端子のゆるみ(良否) 3 ※接地極の表示(有無)		
支 電 線 持 持 及 物 び	1 電線高さ、他物との離隔距離(良否) 2 警戒標、保護柵(有無) 3 ※電柱、腕木、硝子、支線、支柱(良否)、保護網等の 損傷、腐食(有無) 4 ※電線取付状況(良否)		
ケ ー ブ ル	1 ヘッド、接続箱、分岐箱等接続部の損傷、腐食、過熱(有無) 2 敷設部の無断掘さく(有無) 3 警戒標(有無)、他物との離隔距離(良否) 4 ※ケーブルの損傷、腐食、きれつ(有無)		

- (注) 1. 記事欄には不良の場合のみ記入するものとし、不良機器名、部位、程度等を具体的に記入すること。  
 2. 改善措置欄には、当該措置の日付、内容等を記入すること。  
 3. ※は定期点検時行うものである。

# 巡視点検測定記録(A-1の1)

## --- 受電・配電設備(日常・定期)点検表 ---

第 区電気主任技術者

年 月 日実施

実施対象		保安主任者 及び実施者	保安主任者  実施者	印  印
------	--	----------------	------------------	------------

点検結果・改善処置			
区分	点検項目	記事 (不良の場合、不良機器名、部位、程度等を記入)	改善処置
断 路 器	1 外観点検-汚損、損傷(有無)、きれつ、油漏れ(有無) 過熱(有無)、発錆(有無) 2 受と刃の接触(良否)、過熱、変色、変形(有無) 3 汚損、異物の付着(有無) 4 コンプレッサー異常(有無)－該当機器なし (空気動作断路器のみ) 5 ※受と刃の荒れ具合(良否) 6 ※振れ止め装置の機能(良否) 7 ※締め付け部ゆるみ(有無) 8 ※操作、開閉動作(良否) 9 ※鉄部の発錆、異常、変形(有無) 10 ※接地線及び制御線の接続部分の点検(良否) 11 ※警報装置の動作確認(良否) 12 ※各部の損傷、腐食、過熱(有無)、変形、ゆるみ(有無)		
B ・ V C B ( G C ) ・ B ・ O C 類	1 外観点検-汚損、変形、加熱(有無) 2 異音、異臭(有無) 3 ABBの空気圧力、GCBのガス圧力(良否) OCBの油漏れ(有無) 4 その他必要事項(有無) 5 コンプレッサー異常[ABBのみ](有無)－該当機器なし 6 ※締め付け部ゆるみ(有無) 7 ※操作、開閉動作(良否) 8 ※接地線及び制御線の接続部分の点検(良否) 9 ※警報装置の動作確認(良否) 10 ※各部の損傷、腐食、過熱(有無)、変形、ゆるみ(有無)		
高 圧 配 電 盤	1 外観点検-汚損、損傷(有無)、きれつ、油漏れ(有無) 過熱(有無)、発錆(有無) 2 表示灯の異常(有無) 3 制御回路のプラグ接続状態(良否) 4 遮断器の異常音、異臭(有無) 5 遮断器の動作回数(記録) 6 遮断器のガス圧の確認ガス式のみ(記録) 7 ※各部の損傷・腐食(有無)、過熱(有無) ガス圧(良否)、発錆(有無)、変形ゆるみ(有無) 8 ※操作具合、機構(良否) 9 ※付属装置(良否) 10 ※接地線の接続部(良否) 11 ※機構部内部、接触子、摺導面の注油(有無)		
母 線	1 外観点検-碍子の破損その他の異常(有無) 2 ※母線-高さ、たるみ(適否)、他線との離隔距離(適否)、 損傷・腐食(有無)、過熱(有無) 3 ※接続部分、クランプ類の腐食、ゆるみ(有無) 4 ※碍子類、支持物の損傷、腐食、変形、ゆるみ(有無)		
配 電 用 変 圧 器	1 本体外観点検-汚損(有無)、油漏れ(有無)、振動、 音響、温度(有無) 2 ※各部の汚損、損傷、腐食(有無)、油量(適否) 発錆(有無)、ゆるみ(有無) 3 ※接地線の接続部(良否)		

(注) 1. 記事欄には不良の場合のみ記入するものとし、不良機器名、部位、程度等を具体的に記入すること。  
 2. 改善措置欄には、当該措置の日付、内容等を記入すること。  
 3. ※は定期点検時行うものである。

# 巡視点検測定記録(A-1の2)

## --- 受電・配電設備(日常・定期)点検表 ---

第 区電気主任技術者

年 月 日実施

実施対象		保安主任者 及び実施者	保安主任者  実施者	印  印
------	--	----------------	------------------	------------

点検結果・改善処置			
区分	点検項目	記事 (不良の場合、不良機器名、部位、程度等を記入)	改善処置
計器用変成器	1 外観点検-汚損、損傷、腐食(有無)、温度(良否)、発錆(有無)、音響(有無)、変形(有無)、ヒューズの異常(有無) 2 ※各部の汚損、損傷、腐食(有無)、接触(良否)、発錆(有無)、変形、ゆるみ(有無)、ヒューズの異常(有無) 3 ※接地線の接続部(良否)		
避雷器	1 外観点検-汚損、損傷(有無)、きれい、ゆるみ(有無) 2 ※各部の汚損、損傷(有無)、きれい、ゆるみ、コンパウンドの異常(有無) 3 ※接地線の接続部(良否)		
引込線路	1 架空電線の高さ、他物・樹木との離隔距離(良否) 2 ケーブルの損傷、腐食、加熱(有無) 3 警戒標、保護柵(有無) 4 支持物の損傷、腐食(有無) 5 ※架空電線、支持物(良否)、がいしの損傷、腐食(有無) (関西電力株点検時) 6 ※ケーブルの損傷、腐食、きれい(有無) 7 ※接地線接続部(良否)		
低圧配電盤	1 計器、表示灯の異常(有無) 2 操作、切換え、配線用遮断器等の異常(有無) 3 ※裏面配線のじんあい、汚損(有無)、過熱、ゆるみ、断線(有無) 4 ※接地線の接続部(良否) 5 各部の損傷、過熱、接触、ゆるみ、断線、脱落(有無) 6 ※端子配線符号(有無)		
電力用コンデンサ	1 本体外観点検-汚損(有無)、油漏れ(有無)、音響・振動(有無)、変形・変色(有無) 2 ※各部の損傷、腐食、発錆、ブッシングの亀裂(有無)		
直流電源装置等	1 充電装置の損傷、異臭、異音(有無) 2 蓄電池の液面、液漏れ、端子のゆるみ(良否) 3 ※碍子の損傷、腐食(有無)、耐酸塗料のはくり(有無) 4 ※床面の損傷、腐食(有無) 5 ※充電装置の動作状況(良否)		
接地	1 腐食、発錆(有無) 2 ※端子のゆるみ(良否) 3 ※接地極の表示(有無)		
支電線持及び物	1 電線高さ、他物との離隔距離(良否) 2 警戒標、保護柵(有無) 3 ※電柱、腕木、碍子、支線、支柱(良否)、保護網等の損傷、腐食(有無) 4 ※電線取付状況(良否)		
ケーブル	1 ヘッド、接続箱、分岐箱等接続部の損傷、腐食、過熱(有無) 2 敷設部の無断掘さく(有無) 3 警戒標(有無)、他物との離隔距離(良否) 4 ※ケーブルの損傷、腐食、きれい(有無)		

(注) 1. 記事欄には不良の場合のみ記入するものとし、不良機器名、部位、程度等を具体的に記入すること。  
 2. 改善措置欄には、当該措置の日付、内容等を記入すること。  
 3. ※は定期点検時行うものである。

# 巡視点検測定記録(B-1)

第 区電気主任技術者

## --- 負荷設備・非常用予備発電設備(日常・定期)点検表 ---

年 月 日実施

実施対象		保安主任者 及び実施者	保安主任者	印
			実施者	印

点検結果・改善処置				
区分	点検項目		記事(不良の場合、不良機器名、部位、程度等を記入)	改善処置
電動機	1 音響、振動、回転、過熱、異臭(有無) 給油などの状態(良否)			
電熱装置	1 損傷、温度、変形(有無) 2 接続部の変色、過熱(有無) 3 熱線の腐食(有無) (運転者が常時注意すること。)			
照明装置	1 異音、汚損、不点(有無) - 常時 (使用者が常時注意すること。)			
等分配電線盤	1 機能、過熱、湿気、じんあい等(有無) - 1月ごと 2※開閉器、器具の接続(良否) 3※接続部のゆるみ(良否)			
非常用予備発電設備	原動機関係	タービン又はレシプロ 1 燃料系統(貯留タンクを含む。)からの油漏れ(有無) - 常時 2 機関の始動、停止(良否) 3 始動用空気タンクの圧力 [タービンのみ](良否) 4 始動用等蓄電池(良否) - 1月ごと 5※機関主要部分の分解点検(良否) - 1年ごと		
	発電機関係	1 音響、振動、回転、過熱、異臭(有無) 給油などの状態(良否)		

(注) 1. 記事欄には不良の場合のみ記入するものとし、不良機器名、部位、程度等を具体的に記入すること。  
 2. 改善措置欄には、当該措置の日付、内容等を記入すること。  
 3. ※は定期点検時行うものである。

# 巡視点検測定記録(B-2)

## ---発電設備(日常・定期)点検表---

第 区電気主任技術者

年 月 日実施

実施対象		保安主任者 及び実施者	保安主任者  実施者	印  印
------	--	----------------	------------------	------------

点検結果・改善処置				
区分	点検項目	記事 (不良の場合、不良機器名、部位、程度等を記入)	改善処置	
常用 発電 設備	タービン 又は レシプロ 機関係	1 振動、異音、過熱、変型 (有無) 2 ガス又は液体燃料系統(貯留タンクを含む。)潤滑油等の漏洩、架台、支持金物類の異常及びボルトナット類のゆるみ(有無) 3 レバー、リンク等の作動状況の点検(良否) 4 潤滑油量の点検 (良否) 5 機関の始動、停止 (良否) 6 始動用空気タンクの圧力 (良否) - 運転日 7 ※タービン初段動翼の点検 (良否) 8 ※タービン燃焼機内筒の点検 (良否) 9 ※レシプロ機関主要部分の分解点検 10 ※保安装置の動作確認 (良否) 11 ※補機類の動作確認(良否)		
	発電機関係	1 音響、振動、回転、給油 (良否)、過熱、異臭 (有無) - 運転時 2 ※締め付け部ゆるみ (有無) 3 ※操作、開閉操作 (良否) 4 ※接地線及び制御線の接続部分点検 (良否) 5 ※警報装置の動作確認 (良否) 6 ※各部の損傷、腐食、過熱、変形、ゆるみ (有無)		
太陽電池 発電設備	太陽電池	1 外観点検 - 各部の汚損、損傷、発錆 きれつ、ゆるみ (有無) 2 ※汚れ、損傷、発錆、その他 (有無)		
	直流交流変換装置	1 外観点検 - 各部の汚損、損傷、過熱 (有無) 2 ※汚損、損傷、過熱、ゆるみ、その他 (有無)		
	継電器	1 外観点検 - 汚損、損傷 (有無) 2 ※制定値、動作表示 (良否)		
	電路	1 外観点検 - ゆるみ、損傷 (有無)		

(注) 1. 記事欄には不良の場合のみ記入するものとし、不良機器名、部位、程度等を具体的に記入すること。  
 2. 改善措置欄には、当該措置の日付、内容等を記入すること。  
 3. ※は定期点検時行うものである。



巡視点検測定記録(C)

主任技術者

絶縁抵抗測定表

年 月 日実施

実施対象			保安主任者	保安主任者	<input type="checkbox"/>			
			および実施者	実施者	<input type="checkbox"/>			
[工事種別] 1		いんぺい 金属管工事 埋 込	2 露出金属管工事	3 露出碍子引	4 いんぺい碍子引 [家屋構造]	鉄筋コンクリート・ 鉄骨・木造		
測 定 結 果								
スイッチ 番 号	電 圧	負荷設備の名称	スイッチ 容 量	電 灯 受口数	挿 込 受口数	開閉器 設備数	絶縁抵抗値 (MΩ)	記 事
M								
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
分電盤略図							天 候 (測定時)	
							測定機器名	
							(注)	



受電日報(参考)

時刻	計量器指示数(毎日24時)																時刻	計量器指示数(毎日24時)			
	1日 #REF!	2日 #REF!	3日 #REF!	4日 #REF!	5日 #REF!	6日 #REF!	7日 #REF!	8日 #REF!	9日 #REF!	10日 #REF!	11日 #REF!	12日 #REF!	13日 #REF!	14日 #REF!	15日 #REF!	16日 #REF!		日	全日	力率測定装置	
																			有効分	無効分	
0 ~ 1	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	0 ~ 1			
1 ~ 2	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	1 ~ 2			
2 ~ 3	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	2 ~ 3			
3 ~ 4	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	3 ~ 4			
4 ~ 5	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	4 ~ 5			
5 ~ 6	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	5 ~ 6			
6 ~ 7	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	6 ~ 7			
7 ~ 8	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	7 ~ 8			
8 ~ 9	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	8 ~ 9			
9 ~ 10	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	9 ~ 10			
10 ~ 11	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	10 ~ 11			
11 ~ 12	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	11 ~ 12			
12 ~ 13	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	12 ~ 13			
13 ~ 14	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	13 ~ 14			
14 ~ 15	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	14 ~ 15			
15 ~ 16	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	15 ~ 16			
16 ~ 17	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	16 ~ 17			
17 ~ 18	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	17 ~ 18			
18 ~ 19	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	18 ~ 19			
19 ~ 20	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	19 ~ 20			
20 ~ 21	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	20 ~ 21			
21 ~ 22	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	21 ~ 22			
22 ~ 23	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	22 ~ 23			
23 ~ 24	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	23 ~ 24			
計	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	計			
全日 1時間	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	全日 1時間			
最大 30分	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	最大 30分			
記事																		記事			
時刻	17日 #REF!	18日 #REF!	19日 #REF!	20日 #REF!	21日 #REF!	22日 #REF!	23日 #REF!	24日 #REF!	25日 #REF!	26日 #REF!	27日 #REF!	28日 #REF!	29日 #REF!	30日 #REF!	31日 #REF!	計量器指示数(毎日24時)					
0 ~ 1	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	0 ~ 1			
1 ~ 2	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	1 ~ 2			
2 ~ 3	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	2 ~ 3			
3 ~ 4	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	3 ~ 4			
4 ~ 5	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	4 ~ 5			
5 ~ 6	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	5 ~ 6			
6 ~ 7	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	6 ~ 7			
7 ~ 8	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	7 ~ 8			
8 ~ 9	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	8 ~ 9			
9 ~ 10	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	9 ~ 10			
10 ~ 11	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	10 ~ 11			
11 ~ 12	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	11 ~ 12			
12 ~ 13	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	12 ~ 13			
13 ~ 14	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	13 ~ 14			
14 ~ 15	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	14 ~ 15			
15 ~ 16	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	15 ~ 16			
16 ~ 17	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	16 ~ 17			
17 ~ 18	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	17 ~ 18			
18 ~ 19	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	18 ~ 19			
19 ~ 20	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	19 ~ 20			
20 ~ 21	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	20 ~ 21			
21 ~ 22	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	21 ~ 22			
22 ~ 23	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	22 ~ 23			
23 ~ 24	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	23 ~ 24			
計	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	KWH	計			
全日 1時間	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	全日 1時間			
最大 30分	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	KW	最大 30分			
記事																		記事			
																全日	有効分	無効分			
																指示数差					
																乗率					
																計量電力量					
																受電電圧	KV				
																計量電圧	KV				
																契約電力	KW				
																最大需要電力	KW				
																(*****)					
																年	年	月	日		

別記様式第2の(4)

電 気 事 故 記 録

主任技術者

記録年月日 年 月 日

保安主任者 印

--

事故件名							
事故日時		前 年 月 日 午 時 分 後		復旧日時		前 年 月 日 午 時 分 後	
事故現場							
事故 電気工作物		設備の種別		機 器 の 名 称			
事故状況		<p>供給に支障を生じたときは、その区域、電力および時間を、また、学外への影響が明らかなきは、その旨をも記入</p>					
事故原因		<p>事故原因となつた作業の種類、保護装置作動の適否</p>					
事故再発防止のために とった措置							
被害 の 状 況	物的損害	損害を受けた物の名称		損 害 の 程 度		損 害 額	そ の 他
						円	
						円	
						円	
	計				円		
人的損害	所 属	氏 名	性別	作 業 経験年数	被 害 の 程 度		そ の 他
備 考							

## 法定事業者検査記録

項 目	事 項
① 検査年月日	年 月 日
② 検査の対象	
③ 検査の方法	
④ 検査の結果	
⑤ 検査した者の氏名	
⑥ 検査の結果に基づいて保守などの措置を講じた時はその内容	
⑦ 検査の実施に係る組織	
⑧ 検査の実施に係る工程管理	
⑨ 検査協力会社の管理に関する事項	
⑩ 検査記録の管理に関する事項	
⑪ 検査に係る教育訓練に関する事項	

※ 第9条の保存期間に係る「必要期間」とは、①～⑥は5年間、⑦～⑪は法定事業者検査を行った後、最初に検査の結果の通知を受けるまでの期間とする。

年 月 日

担 当 理 事 殿

(部局長 職名 氏名)

印

## 電 気 工 作 物 保 安 管 理 状 況 報 告 書

本 部 局 に お け る 電 気 工 作 物 の 保 安 の 管 理 状 況 に つ い て 、 下 記 の と お り 報 告 し ま す 。

## 記

## I 巡視、点検、測定および保守工事に関する事項

- (1) 巡視、点検および測定の結果発見された基準不適合事項の件数 件
- (2) 保守工事の実施状況（主要なもののみ記入）

実施年月日	実施個所	内 容

- (3) 来年度における保守工事計画（所要見込経費の額をも記入のこと。）

## II 電気事故に関する事項

- (1) 電気事故発生件数 件
- (2) 電気事故の日時、場所、概要等

事故発生日時	事故発生場所	事故の概要（事故原因についても記入のこと）	再発防止のためとった措置

## III 当年度末における保安主任者等の数

保安主任者 名

保安要員 名

## IV その他

(様式1)

組換えDNA実験申請書

年 月 日

京都大学総長 殿

実験 責任 者	所 属	
	職 名	
	氏 名	

下記の組換えDNA実験について別紙計画書のとおり実施したいので申請します。

記

組換えDNA実験の課題名

(様式2)

組換えDNA実験計画書

年 月 日

申請の種類 (注1)	実験の区分 (注2)	拡散防止措置 (物理的封じ込め) (注2)	公的経費 (注3)
<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続 ( 年 月 号) <input type="checkbox"/> 変更 ( 年 月 号)	・微生物・培養細胞を宿主とする実験 <input type="checkbox"/> 未同定DNA実験 <input type="checkbox"/> 同定済みDNA実験 <input type="checkbox"/> 大量培養実験 ・動物を用いる実験 <input type="checkbox"/> 作出 <input type="checkbox"/> 使用 <input type="checkbox"/> 接種 ・植物を用いる実験 <input type="checkbox"/> 作出 <input type="checkbox"/> 使用 <input type="checkbox"/> 接種	<input type="checkbox"/> P1 <input type="checkbox"/> LSC <input type="checkbox"/> P2 <input type="checkbox"/> LS1 <input type="checkbox"/> P3 <input type="checkbox"/> LS2 <input type="checkbox"/> P( ) <input type="checkbox"/> 特定飼育区画 <input type="checkbox"/> 特定網室	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 文科省 科研費 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 無

課 題 名				
実験実施期間(注4)		年 月から 年 月まで		
実験責任者	所属部局の所在地	(〒 )		
	所属機関・部局・職名			
	氏 名	TEL	FAX	E-mail
実験場所	所 在 地	(〒 )		
	名 称			
実験従事者	氏 名	所属機関・職名	宿主及びその取扱い経験年数(注5)	組換えDNA実験経験年数(注6)
安全委員会が本実験計画の実施を適当と認める理由(注7)				
		委員長の所属部局・職名・氏名		



実験の目的	
実験の概要	
当該組換えDNA実験を行う必要性(注8)	
本実験が大臣確認実験となる事由(注9)	

供与体・ベクター・宿主の組み合わせ(注10)							
DNA供与体(注11)	DNAの種類(注12)	未同定DNA実験に係る単離予定のDNA(注13)	同定済みDNA実験に係る供与DNA(注14)	ベクター(注15)	宿主(注16)	拡散防止措置(封じ込め)レベル(注17)	備考

DNA供与体の特徴及び生物学的リスク(注18)	
単離予定のDNA又は供与DNA並びにその産物の特徴及び性質(注19)	
ベクターの特徴、伝達性、宿主依存性(注20)	
宿主の特徴、遺伝子交換範囲とその機構(注21)	
宿主-ベクター系の特徴、拡散防止措置(生物学的封じ込め)の程度及び不活化の方法(注22)	

遺伝子組換え動植物作出時における、DNA導入の段階及びその方法(注23)	
遺伝子組換え生物等(組換え体)又は遺伝子組換え生物等(組換え体)を接種する動植物の特性及びリスク(注24)	
大量培養実験に係る遺伝子組換え微生物、遺伝子組換え動植物又は遺伝子組換え生物等(組換え体)を接種した動植物の拡散防止措置(封じ込め措置)(注25)	
遺伝子組換え生物等(組換え体)の実験終了後の処置	

拡散防止措置( )に係る施設・設備	位置(注26)	
	構造(注27)	
	設備(注28)	

計画書記入要領

本様式の各項目に記入する。記入できない場合は別紙を添付し、該当項目に別紙番号を記入すること。

注1 該当項目にチェックを入れ、変更の場合は前回大臣確認を受けた年月及び確認番号を記入すること。

- 注2 本計画において該当する項目すべてにチェックを入れること。
- 注3 公的経費の有無について該当項目にチェックを入れるとともに、ある場合はその種類を記入すること。
- 注4 予定している実験実施期間(5年を限度とする)を記入すること。
- 注5 宿主として使用する生物種の取扱い経験の有無及び経験年数を記入すること。なお、宿主が微生物、動物、植物を同時に含む実験計画の場合は、その宿主毎について記入すること。
- 注6 組換えDNA実験の経験の有無ならびに経験年数を記入すること。
- 注7 安全委員会及びその委員長が本計画を安全に実施できると認める理由を記入すること。(実験計画、場所、従事者の妥当性など)
- 注8 大量培養実験、遺伝子組換え生物等(組換え体)を動植物に接種する実験、脊椎動物の蛋白性毒素産生遺伝子を扱う実験が含まれる場合は、当該実験を行う必要性について簡潔に記入すること。
- 注9 二種省令別表第一のどの項目に該当するか記入すること。
- 注10 DNA供与体、ベクター、宿主の組み合わせ毎に番号、直線、罫線等でまとめ、相互の関連を明らかにすること。
- 注11 DNA供与体となる生物の種名又は系統名を記入すること。
- 注12 供与DNAについて、ゲノムDNA、相補DNA、合成DNAなどの種類を記入すること。
- 注13 未同定DNA実験のときに該当。核酸混合物から単離しようとするDNAの名称を記入すること。
- 注14 同定済みDNA実験のときに該当。使用する供与DNAの名称(公表されたものであれば文献等)を記入すること。
- 注15 ベクターの名称を記入すること。
- 注16 宿主の種名、系統名又は培養細胞の名称等を記入すること。遺伝子組換え生物等(組換え体)を動植物に接種する場合については、接種に係る動植物を□で囲むこと。
- 注17 組み合わせ毎に拡散防止措置レベルを記入すること。
- 注18 DNA供与体について、拡散防止措置レベル並びに必要な応じてその特徴、自然界における分布、病原性、寄生性、腐生性などの実験従事者に対するリスクについて記入すること。また、蛋白性毒素を産生する場合はLD50及び毒素遺伝子の構造について記入すること。
- 注19 単離・使用するDNA又はその産物等について簡潔な説明を記入すること。また、同定済みDNAの場合は塩基配列又は同定に至る資料を添付し、その資料番号を記入

すること。

注20 ベクターの由来・薬剤耐性・特異形質等の特徴、伝達性、宿主依存性について記入し、必要に応じて実験結果・文献を添付すること。また、ウイルスベクターの場合は拡散防止措置レベルを記入すること。

注21 微生物を宿主とする場合は、栄養要求性、薬剤耐性、至適生育条件等の特徴を、培養細胞をウイルスの宿主として使用する場合は、宿主内における宿主の核酸や共存するウイルス由来の核酸との遺伝情報の交換の可能性について記入すること。また、宿主に病原性、発がん性及び毒素産生性がある場合は、その説明についても記入すること。

注22 認定宿主—ベクター系以外の微生物を宿主とする宿主—ベクター系を用いる場合には、宿主の生存能力、伝播性、不活化の方法と予測される不活化の効率を記入すること。また、ウイルスを使用する場合には、そのウイルスの伝播性に対する拡散防止措置の程度を記入すること。

注23 遺伝子組換え動植物を作出する場合に記入すること。卵、胚、種子、生体など核酸導入時の細胞の分化段階及び導入方法を記入すること。

注24 遺伝子組換え又は遺伝子組換え生物等(組換え体)の接種により新たに獲得することが予想される形質について記入すること。感染性、病原性、寄生性、腐生性又は毒素産生性等の形質が変化すると予想される場合は、その旨明記すること。

注25 大量培養実験、動植物を用いる実験の場合に記入すること。培養・飼育・栽培時における漏出・逃亡・飛散防止に係る管理方法、種子・水・排泄物等の不活化等、拡散防止措置について記入すること。

注26 実験室又は実験区域の位置、実験設備・装置等の配置を図示し、機関内の安全委員会による認可年月日について記入すること。

注27 P3以上の施設の場合に記入すること。また、実験設備の構造について図示すること。

注28 P2以上の施設の場合に記入すること。また、その設備ならびに装置の名称を記入すること。

(様式3)

組換えDNA実験結果(終了・中止)報告書

年 月 日

京都大学総長 殿

実験 責任 者	所 属	
	職 名	
	氏 名	

下記の組換えDNA実験について実験結果(終了・中止)報告書を提出します。

記

組換えDNA実験の課題名	承認番号

(様式4)

組換えDNA実験結果報告書

年 月 日

確認通知の 番号 (注1)	実験の区分 (注2)	拡散防止措置 (物理的封じ込め) (注2)	公的経費 (注3)
年 月 号	・微生物・培養細胞を宿主とする実験 <input type="checkbox"/> 未同定DNA実験 <input type="checkbox"/> 同定済みDNA実験 <input type="checkbox"/> 大量培養実験 ・動物を用いる実験 <input type="checkbox"/> 作出 <input type="checkbox"/> 使用 <input type="checkbox"/> 接種 ・植物を用いる実験 <input type="checkbox"/> 作出 <input type="checkbox"/> 使用 <input type="checkbox"/> 接種	<input type="checkbox"/> P1 <input type="checkbox"/> LSC <input type="checkbox"/> P2 <input type="checkbox"/> LS1 <input type="checkbox"/> P3 <input type="checkbox"/> LS2 <input type="checkbox"/> P( ) <input type="checkbox"/> 特定飼育区画 <input type="checkbox"/> 特定網室	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 文科省 科研費 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 無

課 題 名				
実験実施期間(注4)	年 月から 年 月まで			
実験責任者	所属部局の所在地	(〒 )		
	所属機関・部局・職名			
	氏 名	TEL	FAX E-mail	
実験場所	所 在 地	(〒 )		
	名 称			
実験従事者	氏 名	所 属 機 関 ・ 職 名	宿主及びその取り扱い経験年数(注5)	組換えDNA実験経験年数(注6)
安全委員会	所属部局の所在地			
	委員長	所属機関・部局・職名		
	氏 名			

実 験 の 目 的	
実 験 の 概 要	

供与体・ベクター・宿主の組み合わせ(注7)							
D N A 供与体 (注8)	D N A の 種 類 (注9)	未同定D N A 実験に係る 単離予定の DNA (注10)	同 定 済 み D N A 実 験 に係る供与 DNA(注11)	ベ ク タ ー (注12)	宿 主 (注13)	拡散防止 措置(封 じ込め) レベル (注14)	備考

遺伝子組換え生物等(組換え体)の保存の有無及びその保存方法・処分方法	
確認通知に記入された事項(注15)	
実 験 の 結 果(注15)	
その他本実験の安全性評価に関する見解等(注16)	

報告書記入要領

本様式の各項目に記入する。記入できない場合は別紙を添付し、該当項目に別紙番号を記入すること。

- 注1 大臣確認を受けた年月及び確認番号を記入すること。
- 注2 本計画において該当する項目すべてにチェックを入れること。
- 注3 公的経費の有無について該当項目にチェックを入れるとともに、ある場合はその種類を記入すること。
- 注4 実験実施期間を記入すること。
- 注5 宿主として使用する生物種の取扱い経験の有無及び経験年数を記入すること。なお、宿主が微生物、動物、植物を同時に含む実験計画の場合は、その宿主毎について記入すること。
- 注6 組換えDNA実験経験の有無ならびに経験年数を記入すること。
- 注7 DNA供与体、ベクター、宿主の組み合わせ毎に番号、直線、罫線等でまとめ、相互の関連を明らかにすること。
- 注8 DNA供与体となる生物の種名又は系統名を記入すること。
- 注9 ゲノムDNA、相補DNA、合成DNAなどの種類を記入すること。
- 注10 未同定DNA実験のときに該当。核酸混合物から単離しようとしたDNAの名称を記入すること。
- 注11 同定済みDNA実験のときに該当。使用したDNAの名称を記入すること。
- 注12 ベクターの名称を記入すること。
- 注13 宿主の種名又は系統名を記入すること。
- 注14 組み合わせ毎に拡散防止措置レベルを記入すること。
- 注15 確認通知において報告事項とされた事項及びその結果を記入すること。
- 注16 当初の予測と異なる事象の有無、実験従事者の組換えDNA実験に由来すると考えられる健康被害の有無など、実験の安全性を評価するに当たって必要な事項を記入すること。



(様式5—1)

遺伝子組換え生物等の譲渡・提供申請書

年 月 日

京都大学総長 殿

実験責任者 (所 属)  
(職 名)  
(氏 名)

下記の遺伝子組換え生物等(組換え体)の譲渡・提供について別紙計画書のとおり実施したいので承認を申請します。

記

譲渡・提供の対象となる遺伝子組換え生物等(組換え体)の系統名

(様式5—3)

年 月 日

遺伝子組換え生物等の譲渡・提供・委託に関する情報提供書

(受け入れる側の責任者)殿

実験責任者(機関・部局・職名)

住 所

氏名

印

連絡先：電 話

ファックス

e-mail

記

京都大学において今回の譲渡等にあたり第二種使用をしている以下の遺伝子組換え生物等につき情報を提供いたします。

系統名		
遺伝子組換え生物等の特性	核酸を供与する生物種名	
	供与核酸名	
	ベクター等使用の有無	有・無(有りの場合記入_____)
	宿主	
本学における機関承認番号 承認日	研研2第( 一 )号または_____ (6ケタ数字) 年 月 日	
本学での拡散防止措置	P1 P2 P3 特定飼育区画 その他 P1A P2A P3A 特定網室 ( ) P1P P2P P3P	
法令上での拡散防止措置	P1 P2 P3 特定飼育区画 大臣確認 その他 P1A P2A P3A 特定網室 ( )( ) P1P P2P P3P	
数量等		
搬入予定日	年 月 日	
譲渡等の目的	共同研究 他研究機関等への譲渡 凍結保存 クリーニング 微生物検査 その他( )	
詳細な情報(注)	有 ( )無	
その他(遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律施行規則第16条第1号、第2号又は第4号に基づく使用等をしているか等)		

遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律第26条(情報の提供)に基づく処置です。

(注) 高レベルの拡散防止措置、大臣確認等、あるいは相手機関の求めがあった場合は、詳細情報(本学における実験申請書の写し等)を添付するものとする。

## 特別管理責任者設置届

京都大学総長 殿

部 局 等 の 長  
氏 名

この度、本研究科(研究所等)に特別管理責任者を設置しましたので、報告します。

特別管理責任者 氏 名	
所 属 部 局 等	
処 理 対 象 部 局 等	
処 理 対 象 専 攻 等	
任 命 期 間	
管 轄 する 特 別 管 理 廃 棄 物 の 種 類	
そ の 他 特 記 事 項	

(備考)

1. 「処理対象部局等」及び「処理対象専攻等」は当該特別管理責任者が責任を負う特別管理廃棄物の排出元のことである。
2. 「管轄する特別管理廃棄物の種類」については、廃酸、廃アルカリ、廃油、汚泥、PCB、石綿、水銀、感染性廃棄物の中から記載する。
3. 本届出と同時に当該部局等の監督官庁に特別管理産業廃棄物管理責任者(設置・変更)報告書を提出して下さい。





「

予算科目

予算差引簿

平成一年 月 日  
頁

(単位：円)

取引日	トシ シート	案件番号	伝票番号	摘要 (予算登録番号)	部署	取引先	予算額	執行済額		区分	残額
								抵当額	確定額		
						月計					
						累計					

資産台帳

基本情報			
資産番号		代表資産番号	
名称			
取引先			
勘定科目		財源	
プロジェクト		要按分	
資産管理部署		資産保有部署	
償却開始日		稼働状況	
備考			

物品情報	
機種	規格

財産情報			
住所			
築造面積			
延面積		床面積	
償還		用途	

登記情報			
登記年月日			
登記所		家屋番号	
地目		地番	

資産分類履歴				
分類換日	分類1	分類2	分類3	分類4

資産管理履歴					
管理換日	管理部署	保有部署	使用責任者	電話局	電話番号





様式3-1

振替伝票

伝票番号	
仕訳日	平成 年 月 日
ビジネスネット	
起票者	
決算整理伝票番号	

決裁欄
年 月 日

摘要			
取引先			
関連伝票番号	関連伝票種別		

勘定科目	部署	予算科目	プロジェクト	消費税	借方金額	貸方金額	外貨額
		合計					

様式3-2

入金伝票

入金番号	
入金日	平成 年 月 日
ビジネスユニット	
入金先銀行	
入金先口座	
起票者	

決裁欄
年 月 日

摘要	
----	--

勘定科目	部署	子彙科目	プロジェクト	消費税	借方金額	貸方金額	外帳額
		合計					

様式3-4

未収金計上傳票

伝票番号	
仕訳日	平成 年 月 日
ビジネスネット	
起票者	
案件番号	

決裁欄
年 月 日

摘要				
取引先	取引先			
入金条件		分割回数		

勘定科目	部署	予算科目	プロジェクト	消費税	借方金額	貸方金額	外貨額
		合計					

〒

平成 年 月 日

← 「様」を削除

## 請 求 書

京都市左京区吉田本町36番地1

国立大学法人京都大学  
学長

印

下記のとおり請求致します。

請求金額		円
------	--	---

- ・振込手数料は別途ご負担願います。
- ・振込時は振込人名の前に請求番号を明記してください。

請求番号 :

入金期日 : 平成 年 月 日

明 細	金 額 (円)	備 考

請求書についてのお問い合わせ先

〒 606-8501  
京都市左京区吉田本町36番地1  
京都大学  
TEL  
FAX

振 込 口 座

金融機関名  
本支店名  
預金種別  
口座番号  
口座名義 国立大学法人京都大学

※ 本学では振込口座を複数設けておりますので、入金期日までに上記振込口座へお振込み願います。

入金期日後は、

「請求金額×5%÷365×入金期日の翌日から入金日までの日数」の延滞金を合わせてご入金願います。

ただし、延滞金額が100円未満の場合には延滞金は不要です。

振込金額 (兼手数料)		平成	年	月	日
金額					
先方銀行	銀行		支店		
預金種目	普通	口座番号			
受取人	国立大学法人京都大学				
振込番号					
ご依頼人					
備考	消費税込 手数料				
上記の金額に受け取りました。 消費税部					
			収入印紙		
(消費税一振単位)					

取扱店へのお願い

- 本線の中だけボールペンで記入下さい。
- ご依頼人名の前に振込番号を必ず入れて打冠して下さい。

振込依頼書		科目	
一平成	年	月	日
電話扱	金額	手数料	
金額			
内容			
振込種目	口座番号		
(フリガナ)	国立大学法人京都大学		
(住所)	京都市左京区吉田本町36番地1		
(振込種別)	(フリガナ)		
	(おなまえ)		
(住所)	(おとこ)		
ご依頼人	取納印または控印		
取納印			



# RENT INVOICE

KYOTO UNIVERSITY  
Bill to :

Issue Date : \_\_\_\_\_

Kyoto University,  
Yoshida-Honmachi, Sakyo-ku, Kyoto, Japan

Amount : \_\_\_\_\_

Due Date : \_\_\_\_\_

Details	Amount	Notes
Rent * includes water charge, internet fees and bedding sets		
Total		Invoice No: _____

**Bank Account Details**

Name \_\_\_\_\_

Branch \_\_\_\_\_

Account Name \_\_\_\_\_

Account No. \_\_\_\_\_

Please cut off the payment slip below and use it when making your payment.  
Payment must be made to a bank by the due date.

振込金 受領書  
(振込手数料)

平成 年 月 日

金額		円
先方銀行	銀行 支店	
預金種目	普通	口座番号
受取人	国立大学法人京都大学	
振込番号		
ご依頼人		
備考	消費税込 手数料	
上記の金額に受け取りました。 取付書		収入 印紙
(振込金一枚別紙)		

振込依頼書

科目 \_\_\_\_\_

平成 年 月 日

ご依頼日	振込額	手数料	円
先方銀行	銀行 支店		
預金種目	口座番号	金額	円
(フリガナ)	ダイ) キョウトダイガク	内訳	
(おなまえ)	国立大学法人京都大学		
(おところ)	(電話)		
	京都市左京区吉田本町 3 6 番地 1		
(振込番号)	(フリガナ)		
	(おなまえ)		
(おところ)	(電話)		

取付書へのお願い

○本様の中だけボールペンで記入下さい。  
○三井住友銀行本店の窓口をご利用頂いた際は、手数料は不要です。  
○ご依頼人名の前に振込番号を必ず入れて打印して下さい。

収納印

領 収 証 書		
(氏名)	領 収 年 度	<del>平成</del> 年度
	部 局 名	
	領収証書No.	第 号
	摘 要	
「様」を削除→ <input style="border: 1px solid red; width: 20px; height: 20px;" type="checkbox"/>		
領収金額		
<p><del>平成</del> 年 月 日領収しました。</p> <p>但し、_____の代金</p> <p style="text-align: center;">京都市左京区吉田本町36番地1                      国立大学法人 京都大学 <input style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; vertical-align: middle;" type="checkbox"/> 印                      ( 出納担当者 (印) )</p>		





## 診療費請求書兼領収書

No.

診療日 平成 年 月 日

発行日 平成 年 月 日

氏名 様  
患者番号 年 月 日生

保険種類  
負担割合 割

	保険適用	点	保険適用外	
初・再診料		点		円
医学管理料		点		円
在宅医療		点		円
投薬		点		円
注射		点		円
処置		点		円
手術		点		円
麻酔		点		円
検査		点		円
画像診断		点		円
リハビリテーション		点		円
精神科専門療法		点		円
放射線治療		点		円
病理診断		点		円
入院料等		点		円
合計点数		点		円

文書料	円
容器料	円
	円
	円
	円
	円
	円
	円
その他	円
自費計	円
消費税(再掲)	円

保険分負担金額	円
---------	---

公費一部負担金	円
---------	---

保険適用外金額	円
消費税(再掲)	円

調整金	円
-----	---

※領収書は再発行いたしかねますので、大切に保管して下さい。  
※領収印なき領収書は無効です。  
京都市左京区吉田本町

京都大学保健診療所

電話 075-753-2404

領収印

今回請求額	円
消費税(再掲)	円
前回請求額	円
合計請求額	円
今回入金額	円

領収証書番号	
部 局 名	

## 寄附金領収証書

(寄附者)

様

寄附金額	
------	--

上記のとおり寄附金を領収いたしました。

平成 年 月 日

京都市左京区吉田本町36番地1

国立大学法人京都大学 印

(発行時の制度に応じて、所得税法上の寄附金控除の対象である旨や  
確定申告時の注意事項等を記載する。)

## 宿 舎 貸 与 申 請 書

年 月 日

財務担当理事 殿

所属法人名 京都大学

所属部課名

役 職 名

現 住 所

フリガナ

氏 名

(個人番号

印

)

宿舎の貸与を受けたいので申請します。

宿舎の使用については、国立大学法人京都大学宿舎規程等の定めを遵守し、また指示に反しないことを確約します。

## 1. 申請の理由

## 2. 自宅保有の有無

自宅（1戸建ての住宅又はマンション等）を	保有している	保有していない
(以下該当者が記載)		
自宅の所在地		
自宅以外に宿舎が必要な理由		

## 3. 入居者（本人を除く。）

氏名	年齢	性別	本人との続柄	職業（学年）	備考

## 宿 舎 貸 与 承 認 書

年 月 日

財務担当理事

印

上記申請者に対し、下記のとおり宿舎の貸与を承認します。

## 記

## 1. 宿 舎

種類	構造・規格	所在地		宿舎名及び戸番
				号
専用面積		宿舎使用料月額	入居日	備考
	m <sup>2</sup>	円	年 月 日	裏面2の貸与の条件を遵守のこと

(注) 宿舎使用料月額には、駐車場使用に係るものは含まない。

## 2. 貸与の条件

- (1) 被貸与者は、善良な管理者の注意をもって宿舎を使用しなければならない。
- (2) 被貸与者は、宿舎を第三者に貸し付け、若しくは居住の用途以外の目的で使用又は許可を受けないで模様替その他の工事を行ってはならない。
- (3) 被貸与者は、その責に帰すべき事由により宿舎を滅失し、損傷し、又は汚損したときは遅滞なく、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。
- (4) 天災、時の経過その他被貸与者の責に帰すことのできない事由により宿舎を損傷し、又は汚損した場合において、その損傷又は汚損が軽微であるときは、その修繕に要する費用は、被貸与者が負担しなければならない。
- (5) 宿舎の貸与の承認を受けた者は、承認書に記載の入居日から20日以内に宿舎に入居しなければならない。入居期限までに入居しないときは、貸与の承認を取り消すことがある。
- (6) 被貸与者が宿舎を明け渡す場合には、明け渡す日の10日前までに宿舎（駐車場）明渡届を提出するとともに、宿舎を正常な状態において返還しなければならない。
- (7) 被貸与者は、宿舎貸与申請書記載の氏名並びに記載事項の2、3について変更が生じた場合には、速やかに宿舎事務担当者へ届け出なければならない。
- (8) 本学が宿舎の維持管理に必要と認めて宿舎の検査等を行う時には、被貸与者は正当な事由がなくこれを拒んではならない。
- (9) 宿舎において、犬、猫、鳥などのペットを飼育してはならない。
- (10) 上記のほか、入居者は宿舎の使用について、国立大学法人京都大学宿舎規程及び宿舎入居心得等の定め並びに指示された事項に反してはならない。

## 駐 車 場 貸 与 申 請 書

年 月 日

財務担当理事 殿

所属法人名 京都大学

所属部課名

役 職 名

現 住 所

フリガナ

氏 名

(個人番号

印 )

下欄記載の駐車場の貸与を受けたいので申請します。

駐車場を含め宿舎の使用については、国立大学法人京都大学宿舎規程等の定めを遵守し、また指示に反しないことを確約します。

自動車の車名・型式		自動車登録番号	
自動車の所有者	(本人との続柄)		
自動車の使用者	(本人との続柄)		

## 駐 車 場 貸 与 承 認 書

上記申請者に対し、下記のとおり駐車場の貸与を承認します。

年 月 日

財務担当理事

印

記

## 1. 宿舎

種類	所在地		宿舎名及び戸番号
			号
駐車場番号	駐車場使用料月額	専用開始日	備 考
	円	年 月 日	裏面2の貸与の条件を遵守のこと

宿舎事務担当者名

(宿舎担当係)

確認印

確認印

## 2. 貸与の条件

- (1) 被貸与者は、善良な管理者の注意をもって、許可を受けた駐車場所（以下「駐車場」という。）を使用しなければならない。
- (2) 被貸与者は、駐車場を第三者に貸し付け、若しくは自動車の保管以外の目的で使用又は許可を受けないで、改造その他の工事を行ってはならない。
- (3) 貸与条件に違反した車両には警告書等の貼付、チェーンロック施錠等の措置をとることがある。
- (4) 被貸与者は、その責に帰すべき事由により駐車場を滅失し、損傷し、又は汚損したときは遅滞なく、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。
- (5) 天災、時の経過その他被貸与者の責に帰すことのできない事由により駐車場が損傷し、又は汚損した場合において、その損傷又は汚損が軽微であるときは、その修繕に要する費用は、被貸与者が負担しなければならない。
- (6) 駐車場を明渡す場合には、明渡す日の10日前までに宿舎（駐車場）明渡届を提出するとともに、駐車場を正常な状態において返還しなければならない。
- (7) 貸与者は、申請書記載の氏名、自動車の車名・型式、登録番号等の事項について変更が生じた場合には、すみやかに宿舎事務担当へ届け出なければならない。
- (8) 本学が宿舎等の維持管理に必要と認めて駐車場の調査等を行う時には、被貸与者は正当な事由がなくこれを拒んではならない。
- (9) 駐車場における盗難、損傷等の事故及びチェーンロック施錠等により被貸与者が受けた損害については、本学は一切その責任を負わない。
- (10) 上記のほか、被貸与者は駐車場の使用について、国立大学法人京都大学宿舎規程及び宿舎入居心得等の定め並びに指示された事項に反してはならない。

## 宿舎同居承認申請書

年 月 日

財務担当理事 殿

宿舎名及び戸番  
所属法人名  
所属部課名  
役職名  
フリガナ  
氏名

印

現在貸与されている宿舎に、下記の者を同居させたいので申請します。

## 記

## 1. 同居させる理由

## 2. 同居させようとする者

氏名	年齢	性別	本人との続柄	職業（学年）	備考

## 宿舎同居承認書

上記申請のあったことについては、申請のとおり承認します。

年 月 日

財務担当理事

印



## 宿舎模様替等申請書

年 月 日

財務担当理事 殿

宿舎名及び戸番  
所属法人名  
所属部課名  
役職名  
フリガナ  
氏名

印

現在貸与されている宿舎に、別添図面のとおりに模様替等工事を実施したいので、下記のとおり申請します。

### 記

1. 工事内容の詳細及び工事経費
2. 工事をしようとする理由
3. 工事施工についての条件（不用部分は抹消すること。）
  - (1) 宿舎明渡しのときまでに原状に回復する。
  - (2) 工事の目的物を国立大学法人京都大学に寄付する。
  - (3) 工事に係る国立大学法人京都大学に対する請求権を放棄する。

## 宿舎模様替等承認書

上記申請のあったことについては、申請のとおり承認します。

年 月 日

財務担当理事

印



宿舎（駐車場）明渡届

年 月 日

財務担当理事 殿

所属法人名 京都大学

所属部課名

役 職 名

現 住 所

フリガナ

氏 名

印

このたび下記のとおり、宿舎（駐車場）を明渡しいたしますので、届け出ます。

なお、自己負担に係るもの及び宿舎事務担当者から指示された事項については、それぞれ修繕いたしますが、万一、明渡し後に私の責に帰すべき事由による損傷又は汚損箇所が発見された時には、責任をもって修復することを確約いたします。

記

1. 宿舎所在地
2. 宿舎名及び戸番
3. 宿舎明渡日
4. 宿舎明渡し後の住所
5. 宿舎明渡し後の連絡先電話番号
6. 宿舎明渡しの理由
7. 許可を受けた駐車場（駐車場番号）
8. 駐車場明渡日
9. 駐車場明渡しの理由
10. 原状回復完了日

管理人記載事項

1. 宿舎（駐車場）明渡しの点検確認時に特に指示した事項
  
2. その他参考事項

宿舎事務担当者

印

## 宿舎明渡猶予申請書

年 月 日

財務担当理事 殿

宿舎名及び戸番  
 所属法人名  
 所属部課名  
 役職名  
 フリガナ  
 氏名

印

年 月 日付けで（□退職 □死亡 □配置換・出向等）となりましたが、現在貸与されている宿舎について、明渡しを猶予されるよう下記のとおり申請します。

なお、ご承認のうえは、期間内に必ず明渡しすることを確約します。

## 記

1. 猶予期間 年 月 日から  
年 月 日まで
2. 猶予を必要とする理由並びに現在の状況（具体的詳細に記入すること）

3. 居住者（本人を除く。）

氏名	年齢	性別	本人との続柄	職業（学年）	備考

4. 駐車場の有無 有（駐車場番号 ）・無
5. 新しい勤務先の名称、住所及び電話番号

## 宿舎明渡明渡猶予承認書

上記申請のことについては、年 月 日まで宿舎の明渡しを猶予する。

なお、万一猶予期間を経過したのち当該宿舎に居住していた場合は、本学宿舎規程等の定めにより、宿舎使用料月額額の3倍に相当する金額を損害賠償金として請求するので、期限までに必ず明渡しすること。

年 月 日

財務担当理事 印

## 宿舎損害賠償金軽減申請書

年 月 日

財務担当理事 殿

宿舎名及び戸番

所属法人名

所属部課名

役職名

フリガナ

氏名

印

現在貸与を受けている次の2に掲げる宿舎にかかる損害賠償金について、次の理由により国立大学法人京都大学宿舎管理規則第19条第1項の規定による損害賠償金の軽減を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

1. 理由

2. 宿舎

宿舎名及び戸番	構造・規格	所在地	駐車場番号	宿舎明渡 予定期日

3. 現在の勤務先、職名及び電話番号

4. 居住者（本人を除く。）

氏名	年齢	性別	本人との続柄	職業（学年）	扶養手当支給の有無

## 宿舎損害賠償金軽減承認書

上記申請に対し、当該貸与宿舎にかかる損害賠償金の軽減について、下記のとおり承認します。

年 月 日

財務担当理事

印

記

1. 軽減措置の期間 年 月 日から

年 月 日まで

2. 損害賠償金の額 月額 円

3. 条件

(1) 申請書に記載した理由に変更があった場合には、被貸与者はすみやかに、その旨を届出なければならない。

(2) 損害賠償金を軽減することを承認された後、被貸与者が国立大学法人京都大学宿舎規程16条第2項の規定に違反して宿舎を明け渡さないときは、この承認は遡及して取り消すものとする。

年 月 日

京都大学総長 殿

財務担当理事 印

## 宿舎滅失・き損報告書

国立大学法人京都大学宿舎管理規則第24条の規定により、下記のとおり報告します。

1. 宿舎名等
  - ①宿舎名
  - ②所在地
  - ③棟番号又は戸番
2. 当該宿舎の被貸与者名
3. 滅失・き損等の事実発生の詳細
4. 滅失・き損等発見後の措置
5. 損害見積額
6. その他参考となるべき事項
7. 添付書類（図面等）

様式1-1 旅行伺 兼 旅費 精算 請求書 兼 報告書

				部局名					出張番号		
決裁欄						出勤簿記載				旅行命令権者印	
出張者情報		※ 出張者の氏名、所属、職名等の必要事項を記載する。									
旅費の出途		※ 財源、予算科目等の必要事項を記載する。									
期 間					用務先住所 または国名等						
月 日	出発地	目的地	用務先		用務内容	日 当		宿泊料		交通費	備 考
						日	円	夜	円	円	
支給額	課税	円	不課税	円	非課税	円	定額計				
旅行雑費	円										
連絡事項等		※ 必要に応じて、減額調整の有無、自宅宿泊の有無等、記載する。									
上記のとおり出張しましたので報告し、旅費を請求します。										出張者の署名	
						請求額	円	年	月	日	_____

備考 1 必要があるときは、各欄の配置に所要の変更を加えることその他所要の調整を加えることができる。

様式1-2 旅行伺 兼 旅費 概算(精算) 請求書 兼 報告書

部局名										出張番号				
決裁欄										出勤簿記載		旅行命令権者印		
出張者情報		※ 出張者の氏名、所属、職名等の必要事項を記載する。												
旅費の出途		※ 財源、予算科目等の必要事項を記載する。												
期 間		用務先住所 または国名等												
月 日	出発地	目的地	用務先	用務内容	日 当		宿泊料		交通費	備 考				
					日	円	夜	円	円					
支給額	課税	円	不課税	円	非課税	円	定額計							
旅行雑費	円													
連絡事項等	※ 必要に応じて、減額調整の有無、自宅宿泊の有無等、記載する。													
上記のとおり出張しますので、旅費を請求します。														
請求額 円 年 月 日 出張者の署名(省略可)														
精算欄	上記のとおり出張しましたので報告し、旅費を精算(請求)します。 出張内容 変更なし(あり) 旅費精算額 変更なし(あり) 出張者の署名													
概算額 円 精算額 円 請求(追給・返納)額 円 年 月 日														

- 備考
- 1 必要があるときは、各欄の配置に所要の変更を加えることその他所要の調整を加えることができる。
  - 2 概算払の請求時には出張者の署名を省略することができる。
  - 3 出張内容並びに旅費精算額に変更がある場合は、変更後の内容で再度本紙を作成する。



様式2-1 招へい伺 兼 招へい旅費 精算 請求書 兼 報告書

				部局名				出張番号			
決裁欄								旅行命令権者印			
招へい者		※ 招へい者の氏名、所属、職名等の必要事項を記載する。									
招へい責任者		※ 招へい責任者の氏名、所属等の必要事項を記載する。									
旅費の出途		※ 財源、予算科目等の必要事項を記載する。									
期 間		支払先の 情報等									
月 日	出発地	目的地	用務先	用務内容	日 当		宿泊料		交通費	備 考	
					日	円	夜	円	円		
支給額	課税	円	不課税	円	非課税	円	定額計				
旅行雑費	円										
連絡事項等	※ 必要に応じて、減額調整の有無、自宅宿泊の有無等、記載する。										
上記のとおり招へいしましたので報告し、旅費を請求します。					招へい責任者の署名						
					請求額	円	年	月	日	_____	

備考 1 必要があるときは、各欄の配置に所要の変更を加えることその他所要の調整を加えることができる。



様式3

部局名

## 赴任届 兼 赴任旅費請求書

決裁欄							旅行命令権者印				
所属部局課			職名			<input type="checkbox"/> 役員 部局長 <input type="checkbox"/> 教授・准教授 部課長級 <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> その他		氏名及び個人番号			
前居住地			新居住地			扶養親族の移転		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
旅費の出 途	予算科目		プロジェクト名				整理番号				
	区分 <input type="checkbox"/> 一般管理費 <input type="checkbox"/> 教育経費 <input type="checkbox"/> 研究経費 <input type="checkbox"/> 診療経費 <input type="checkbox"/> その他( ) 財源 <input type="checkbox"/> 大学運営費 <input type="checkbox"/> 受託研究 <input type="checkbox"/> 共同研究 <input type="checkbox"/> 寄附金 <input type="checkbox"/> その他( )										
年月日	出発地	目的地	交通費	日 当		宿 泊 料		移 転 料		旅行雑費	備 考
				日数	定 額	夜数	定 額	距離又は地域	定 額		
			円	日	円	夜	円	km又は地域	円	円	
合 計											
扶養親族 移転料	区 分	人 員	交 通 費	日 当	宿 泊 料	旅 行 雑 費	計	移 転 料	備 考		
	12歳以上	人	円	円	円	円	円	円			
	6歳以上12歳未満										
	6歳未満										
	計										
上記のとおり赴任しましたので旅費を請求します。							請求額	課税額	円		
年 月 日 (出張者の署名)								円	不課税額	円	

※ 扶養親族の移転の有無欄は、扶養親族を1年以内に移転する場合にのみ「有」とすること。  
 備考 1 必要があるときは、各欄の配置に所要の変更を加えることその他所要の調整を加えることができる。



別紙様式2

預　　り　　書

拾得物件		特　　徴　　等	
<p>上記の物件を預かりました。</p> <p>年　　月　　日</p> <p>殿</p> <p>京都大学（学部名） 取扱者</p>			

備　考　 この預り書は、京都大学が拾得物を7日以内に警察署へ届出後、警察署発行の「拾得物預り書」を送付いたしますから、それまで紛失しないよう保管しておいて下さい。なお、「拾得物預り書」を受理されたらこの預り書は不要となります。

別紙様式3

## 拾得物件公告

下記物件の拾得の届出がありましたから、心当たりの人は速やかに届け出て下さい。

年 月 日

保管事務室名 \_\_\_\_\_

記

1. 物件（種類及び数量）

2. 拾得の日時

年 月 日

3. 拾得の場所

遺失物送付書

(送付年月日) 年 月 日

届出受理	(部局名)		(氏名)			
	年	月	日	午前 午後	時	分頃
拾得物	拾得物件	現金	(総額)	(内 訳)		
		物品	(品名)	(数量)	(特徴)	
内容	拾得日時	年	月	日	午前 午後	時 分頃
	拾得場所	京都大学		構内	付近	
	拾得者	住所	氏名		連絡先	
権利区分		有 権	棄 権		失 権	





(記載要領)

- (1) 飲食費の支出を要する会議等を開催しようとするときは、会議等の開催前に、この様式に必要な事項を記入の上、部局等の長の承認を得てください。
- (2) 会議等の開催前に飲食費支出伺を提出できない特別の理由がある場合には、会議等の終了後にその理由を付記(別紙可)して、部局等の長に提出してください。
- (3) 会議等の名称は、実際に開催される会議等の名称を記載してください。
- (4) 飲食物の提供を必要とする理由については、会議の進行において飲食物を提供しその費用を支出せざるを得ない事情等を詳細に記載してください。
- (5) 実施予定日時は、飲食物の提供を行う日時ではなく、会議等の開始予定日時及び終了予定日時を記載してください。
- (6) 実施予定場所は、学内の場合は、建物の名称、階数、室名等を記載してください。学外の場合は、実施予定場所の所在地、名称及び連絡先等を記載してください。  
また、実施予定場所において他の事業者等から飲食物の供給を受ける場合には、その事業者等の所在地、名称及び連絡先等を記載してください。
- (7) 適用基準は、飲食を提供する会議等が、支出基準第3条のうちの該当する基準にチェック(✓)を記入してください。
- (8) 会議等の参加予定者があらかじめ決まっている場合には、該当する人数を記載のうえ、参加者名簿等を添えて提出してください。それ以外の場合には、参加予定者の人数を記載してください。
- (9) 支出予定科目は、飲食費を支出する予定の財源や予算科目の名称を記載してください。財源や予算科目によっては、飲食費の支出を制限される場合があるので、正確に記載してください。
- (10) 支出予定金額は、当該会議等における飲食の提供に要する総額(消費税及び地方消費税並びにサービス料を含む。)を記載してください。なお、この支出予定額を参加予定者数で除して得た金額が、支出基準第4条に定める上限額を超える場合には、特別に承認を求める事項に該当しますので、留意してください。
- (11) 特別に承認を求める事項が無い場合には、「非該当」にチェック(✓)を記入してください。
- (12) 特別に承認を求める事項がある場合には、該当する項目にチェック(✓)を記入し、承認を必要とする理由を詳細に記載してください。
- (13) 会議の開催にあたり、関連する資料等がある場合には、添付してください。

【参考】国立大学法人京都大学が実施する会議等における飲食費支出基準(抜粋)

(飲食の提供基準)

第3条 飲食物は、会議等の進行上の理由等によりやむを得ない場合に限り簡素なものを提供できるものとする。

2 提供できる飲食物は、次の各号に掲げるものとする。

一 学内で行われる会合等における茶菓

二 多数の者が参加する立食パーティー(飲食物が提供される会議等であって立食形式で行われるもの)における飲食物

三 会議等における前2号以外の飲食物

四 入退室が制限される入学試験業務等における飲食物

五 前4号のほか教職員又は学生に係る顕彰又は表彰における飲食物

3 本学の教職員のみが参加する会議等における飲食費の支出は、前項第4号及び第5号を除き認めない。

4 酒類の提供に係る飲食費の支出は認めない。

(支出上限額)

第4条 会議1回当たりの飲食費(消費税及び地方消費税並びにサービス料を含む。)の支出上限額は、1人当たり5千円とする。

年 月 日

経理責任者 殿

## 飲食費支出依頼書

下記の通り、飲食物を提供しましたので、飲食費を支出願います。

記

会議等の名称						
実施責任者 所属・職・氏名	(自署)					
実施日時	自	年	月	日	午前・午後	時 分
	至	年	月	日	午前・午後	時 分
実施場所						
支出科目						
支出金額	円 (一人当たりの金額 円)					
参加者	学外者 名	学内者 名		計 名		
	所属名称	職 名		氏 名		
学 外 者						
学 内 者						
備 考						

(記入要領)

※この様式は必要事項を記入のうえ、会議終了後に請求書を添えて提出してください。

※実施責任者の氏名は、支出内容等を確認のうえ、必ず自署してください。

※支出金額の内訳が分かる書類(納品書等)を添付してください。ただし、請求書に請求内訳が記載されている場合は不要です。

※参加者の所属名称・職名・氏名は、その内容が記載されている名簿等を添付する場合は、記載を省略できます。

※参加予定者数や支出予定金額が減少する場合等を除き、事前に承認を得た飲食費支出同の内容を逸脱する場合は、改めて飲食費支出同(様式1)による承認を得てください。

※その他必要な事項があれば、備考欄に記載してください。

様式1

No. \_\_\_\_\_  
年 月 日

特 別 利 用 願

(許可権者)

京都大学〇〇部局長

〇〇〇〇 殿

申請者

住 所

機 関 名

代表者名

印

京都大学図書館保管資料特別利用規則に基づき下記のとおり申請しますので、資料等の特別利用を許可くださるようお願いします。

記

- 1 資料等の名称及び利用箇所
- 2 特別利用の区分 写真撮影等・写真原板等の使用・複製等
- 3 利用目的

(出版物に掲載の場合)

出版物等の名称

発行部数等

摘 要

4 利用希望日 年 月 日( )

5 担当者

6 利用料の請求先

(上記申請者と異なる場合に記入)

7 備 考

様式2

No. \_\_\_\_\_  
年 月 日

〇〇〇〇〇  
〇〇〇〇〇

殿

(許可権者)

京都大学〇〇部局長

〇〇〇〇

印

### 特別利用許可書

年 月 日付けで願い出のあった特別利用については、下記により許可します。

#### 記

1 許可資料名

2 利用目的

3 許可の条件

- (1) 掲載、又は収録等する場合は、京都大学〇〇〇〇図書館(室)所蔵の旨を明記すること
- (2) 発行等を行なったときは、当該刊行物を2部当該図書館に寄贈すること
- (3) 資料を撮影する場合は、その原フィルム又はデジタルデータを当該図書館に寄贈すること
- (4) 特別利用で生成したデータ等を無断で改変しないこと
- (5) 許可された目的以外に使用しないこと。なお、許可された目的以外に使用した場合には、利益を得たか否かを問わず、本学が定める違約金を支払うこと
- (6) 資料等を損傷したときは、当職と協議の上で弁償すること
- (7) 特別利用の際は、係員の指示に従うこと

4 利用料 \_\_\_\_\_ 円

(上記の料金を 年 月 日までにお支払いください。)

5 納入方法 別紙請求書等により指定銀行口座にお振り込みください。